

12月10日(月)

人生ははかない

聖書朗読 ヨブ 17:1~9

主よ、お知らせください。私の終わり、私の年齢、どれだけなのか。私が、どんなに、はかないかを知ることができるように。 詩篇 39:4

「人生ははかない。祈りとともに歩もう」。私はこの言葉を家の壁に飾り、毎日この言葉を見て、胸に刻みます。特に、病院で医者に「再検査が必要です」と言われた後や、父親が失業した家族に食べ物を持っていった後、この言葉をさらに一層胸に刻みます。

人生ははかない。私たちは自分の死ぬ日や、その日までの環境をコントロールすることはできません。私たちが提供する食事や寄付、添えるカード、全てはこの世に溢れる苦痛に対しては大きな癒しにはなっていないように思います。でも、全能の御方はそれらを使い人々を癒すことができます。

人生ははかない。でも、祈ることによって、私たちは、私たちが愛して下さる御方、宇宙の神に近づくことができます。祈りには力があります。神のあわれみは決して絶えることはありません。私たちがどのような中にいようと、神様は私たちを導き出してくださいませ。神様は全能の御方です！

神は私たちの祈りに鋭く、突然お応えになられる

そして、その応えを私たちの顔の前に突き出す。

それが辛いものでも必ず賜物と一緒に添えてくださる。

——エリザベス・バレット・ボローニング

讃美歌 第二編 191

祈り 親愛なるお父様。私は人生はとてはかないということを思い知ります。お父様、イエス様を通して祝福された信頼をありがとうございます。「主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません」。この言葉を決して忘れない信仰を私に与え続けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

H・L・ファレル

テキサス州 ジョージタウン

今日のカ

2012年12月10日~12月16日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月11日(火)

乳飲み子たちの口から

聖書朗読 詩篇 8編

主は私の羊飼ひ。

詩篇 23:1

ある夜、私の娘の家の電話が壊れてしまいました。娘は車もなく、そんな中、彼女の幼子が病気で助けが必要な状況になってしまいました。彼女は取り乱し、不安で押しつぶされそうになりました。というのも、助けを呼ぶため、近隣の電話があるところまで子どもを抱いて暗い森を通らなければならなかったからです。電話で助けを呼ぶことができ、家に戻る道中、子どもが「きらきら星」を歌い始めました。

娘は立ち止まり、星を見上げました。彼女の不安は消えていき、神様はいつもそばにいてくださることを思い出し、笑みがこぼれました。生活の中で、やらなければならないことや困難があまりにも多いと、神様がいつも私たちのそばにいてくださることを忘れてしまいます。私たちを取り巻いている神の創造物は常に私たちに神様の愛と力を思い出させてくださいます。それなのに、私たちは多くの祝福を受けているのにもかかわらず、それを忘れてしまいます。上を向いて、神様の創造物から与えられる安らぎを探しましょう。

主、全能者、創造物の王をほめたたえよ！

ああ、主は女の繁栄と救い。我が魂は主をほめたたえる！

聞こえているものは皆、この今、上の宮に行こう！

そこから礼拝に参加しよう！

—— ヨアヒム・ネアンダー

聖歌 502

祈り 全能の神。あなた様が造られたものはなんとすばらしいことでしょう！
私たちを楽しませる美しいもの、神様を感じることで得られる平安に感謝し、賛美いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

キャロライン・イエイツ

ノースキャロライナ州 ラレイ

12月12日(水)

これから私は眠りにつきます

聖書朗読 詩篇 4編

平安のうちに私は身を横たえ、すぐ、眠りにつきます。主よ。あなただけが、私を安らかに住まわせてくださいます。
詩篇 4:8

多くの人が、「これから私は眠りにつきます」で始まる子どもの寝る前のお祈りを知っていると思います。このお祈りは、信頼と希望を表す素晴らしいお祈りです。しかし、人によっては、このお祈りが少し子どもにはむごいように感じる人もいますので、私は「もし目覚めずに死ぬのなら、私は神に祈ります。我が魂を抱きたまえと」。これを、「夜の間、私をお守りください。そして、朝の日の光で私を目覚めさせてください」に変えました。

私は両方とも好きですが、死を毎日思い出させることが、若い人にも年寄った人にも良くないのではないかと私は思います。それは、自尊心と自己充実感を私たちにもたらす私たちの本来持っている強さを弱めてしまうのではと思うからです。この詩篇は、弱い私たちが主を求めたとき、慈悲深い主はそれを聞いてくださり、私たちの心に喜びをもたらしてくださると教えています。

以前、年配のクリスチャンから本来は夜用の祈りだけれども朝用のお祈りとして教えてもらった祈りがこれです。

これから私は目覚め、朝の光を見ます。

神様は夜通し私を守ってくださいました。

私の声と祈りをあなた様に捧げます。

神様は私を一日中お守りくださいます。

讚美歌 第二編 33

祈り 愛するお父様。星が輝く中、私をお導きください。朝日が輝くとき私を目覚めさせてください。朝日の中で目覚めたとき、進むべき愛の道をお示しください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョン・H・ウィリアムス

テキサス州 アビリン

12月13日(木)

暗闇から

聖書朗読 詩篇 11編

彼の目の前には、神に対する恐れがない。

詩篇 36 : 1

ある日、私の友達は、彼の性格の欠点が全て列挙された手紙を受け取りました。その手紙の最後には「友達より」と書かれていました。この手紙には、「友達」ではなく「嫌なやつより」と書くべきでしょう。手紙で悪口を書くのは、面と向かって相手の嫌なことを言うよりは、それはそれは簡単にできるでしょう。友人は、もしこの誰ともわからない「友達」が望むのであれば、「友達」が作った欠点リストをもっともっと増やしてあげるのと言っていました。

詩篇36編で、作者は言います。『罪は悪者の心の中に語りかける、・・・彼の口のことばは、不法と欺きだ。彼は知恵を得ることも、善を行うこともやめてしまっている。彼は寝床で、不法を図り、よくない道に堅く立っていて、悪を捨てようとしぬ。』

神の栄光と御救いの喜びの中でも、悪者は私たちの近くにいるので、私たちはそれらと日々戦わなければならないことを、心に留めておきましょう。

私たちは、悪者の真の姿を見極め、決して見過ごすことのないよう注意しなければなりません。サタンはその邪悪な計画を裏に隠し、見かけは美しいものに取り繕います。匿名の手紙を受け取った私の友人にしたように、サタンは私たちが思いもよらない方法で暗闇から私たちを攻撃してきます。彼の手口に気をつけていなければなりません。

讚美歌 527

祈り 親愛なるお父様。私が祈るとき、どうか聞いてください。サタンの悪巧みに気づき、蛇のように賢く、鳩のように素直なものとしてたちまわれるようお助けください。仕返しはあなた様にゆだねます。私は喜んで身を引きます。日々が平安で満たされますように。

キリストの御名によって。アーメン。

ポーツ・リブル

テキサス州 アンジェロ

12月14日(金)

ゴリヤテの背後を見る

聖書朗読 詩篇 33 : 16~22

主の目は主を恐れる者に注がれる。その恵みを待ち望むものに。 詩篇 22 : 18

60キロ近くある銅製の鎧を身にまとい、機巻き棒のような槍を背負って立っている3メートル近くある巨人ゴリヤテに全員の目は釘づけになりました。サウル王と兵士達はゴリヤテの大きさを見、ゴリヤテの自信に満ちた決闘の申し込みを聞いて、非常に恐れ、意気消沈しました(Iサムエル 17 : 1~11)。

羊飼いの少年ダビデもこの巨人を見て、決闘の申し込みを聞いていました。しかし、ダビデは『勇者は力の強いことによって救い出されない。』(詩篇33 : 16)と知っていました。ダビデはゴリヤテの後ろにあるものを見ることができたのです。なぜなら、ダビデは『主の目は主を恐れる者に注がれ』、神の尽きることのない愛がゴリヤテの手から神の民を守ってくださることを信じていましたから。ダビデは、ゴリヤテの後ろにおられるアブラハム、イサク、ヤコブの生ける神を見ていたので、勝利はダビデの手に渡りました。

ここで、ある疑問が沸きます。もし、私たちがゴリヤテから決闘の申し込みを受けたら(たとえば、それが健康上の問題であったり、新しい学校や生活環境であったり、仕事で難しい決断をしなくてはいけないときであったり、クリスチャンライフで自分の意思に反する状況になったとき等々)、私たちは立ちばばかりの巨人の背後をみることができのでしょうか? 尽きることのない愛で子どもたちを見守ってくださる主を探して、巨人の背後を見ることが私たちにはできのでしょうか?

聖歌 358

祈り 親愛なる主。どうか、ダビデがあなた様を信頼したように、あなた様のこの世、そして私の日常においてあなた様がそこにおられ、あなた様の御力が働くことを疑うことなく信じるができるよう私たちをお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

エルマー・プラウト

カリフォルニア州 ウッドランド

12月15日(土)

あなたの聖書の擦り切れているページ

聖書朗読 詩篇 51:1~12

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 Iヨハネ 1:9

洗礼を受けた後、もしあなたが真剣に霊的な成長を続けているのなら、聖書のこのページは開かれて、何度も読み返されているページだと思います。あなたの聖書のこのページには指紋やもしかしたら涙さえも、その美しいシミとしてついているでしょう。

罪を犯そうと思っていなくても、私たちは罪を犯してしまうものです。霊的に成長していくなかで、私たちは罪から身を遠ざけ、主への奉仕の中、大いなる喜びと自由に向かうことができます。告白されず、悔い改められない罪があるならば、それは私たちの上に積み上げられ、やがてキリストのうちにある私たちの新しい命の灯火を消してしまいます。

詩篇51編は、ヨハネの手紙第一1章にある力強い真実への旧約聖書による手引書です。ダビデは、姦淫、殺人といった重大な罪を犯しました。詩篇51編は、赦し、清め、更正、勇気を必死に請うダビデを映し出しています。

私たちはダビデが犯したような罪は犯さないとは思いますが、私たちの罪がどうであれ、その罪は同じくらいに神様から私たちを遠ざけます。神様が心から私たちを罪から救い出してくださることを知っているのなら、この二つの聖句は、私たちの暮らしの中に渦巻く罪に注意を払うための力強いメッセージとなるのです。

讚美歌 254

祈り 親愛なる主。自分のやり方から抜け出して、あなた様の示す道に向かうとき、罪の告白の大切さと、犯した罪の深さを忘れることのないようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

キース・ホッジス
テキサス州 マーシャル

12月16日(日)

優先順位の決め方

聖書朗読 詩篇 52:10~19

あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。

ルカ 12:34

アフリカにいたとき、頭の上に非常に重い荷物を載せ、苦もなく優雅にバランスをとりながら歩いている女性たちを見て驚いたのを覚えています。この女性たちは、水を頭に載せて何キロもの道のりを運んでいました。私も頭の上に物を載せてバランスをとろうとしましたが、それはとても不自然で、落ち着かない感じがしました。しかし、アフリカ中の人々は、それがまるで全く自然な行為のように頭に物を載せて歩いていました。

自分にとっては不自然なことでも、ほかの人から見たら自然で、もしかしたら良いことっていったいどれくらいあると思いますか？ アフリカでもう一つ気がついたのが、彼らは時計に対する関心が薄いことです。彼らは急ぐことはしません。一日のスケジュールをいかにこなすかを考えるのではなく、彼らはじっくり、その時を純粋に楽しんでいるようでした。彼らは何をしているかはあまり問題にはしません。彼らは暖かい心のこもったおもてなしに時間をかけます。それは不意に来た全く見知らぬ人に対してでさえも同じです。彼らは人、それもたくさんの人と過ごすことを、何よりも優先します。このアフリカの人々の優先度の調整に関しては、今でも私には理解できませんが・・・

讚美歌 332

祈り 全ての主。私は優先順位のつけ方を何度も間違えてしまいました。私たちを洗い清め、愛と平安の道に歩みださせてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロドニー・トーマス
テキサス州 ラボック